

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	28000 観光施設整備事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		3	観光の振興	根拠法令	特になし	7	1	3	☒ 主な事業
施策の展開		8	観光施設の整備	戦略事業	38	観光施設整備事業			☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☒ 新市建設計画
									☒ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		観光客の誘致を図るため、観光案内看板や観光施設等を整備する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・観光客を呼び込むため、観光案内看板等観光施設を整備した。 ・新たな施設を整備するより、既存施設の改修が主となっている。		大規模な修繕が主となってくると思われるが、計画的なスケジュールが組めていない。	特になし

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)	単位: 千円
1. 工事請負費	0
2. 委託料	0
3. 備品購入費	0
4. 需用費	0
5. その他	0
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)	単位: 千円
1. 国庫支出金	0
2. 都道府県支出金	0
3. 地方債	0
4. その他	0

事業費	費目内訳	単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
事業費	1. 工事請負費	千円	51,325	4,953	574	0	0
	2. 委託料	千円	830	0	0	0	0
	3. 備品購入費	千円	244	0	0	0	0
	4. 需用費	千円	0	0	0	0	0
	5. その他	千円	0	0	0	0	0
財源	事業費計 (A)	千円	52,399	4,953	574	0	0
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	52,399	4,952			
	5. 一般財源	千円	0	1	574	0	0

前年度増減理由 整備施設がなかったため

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

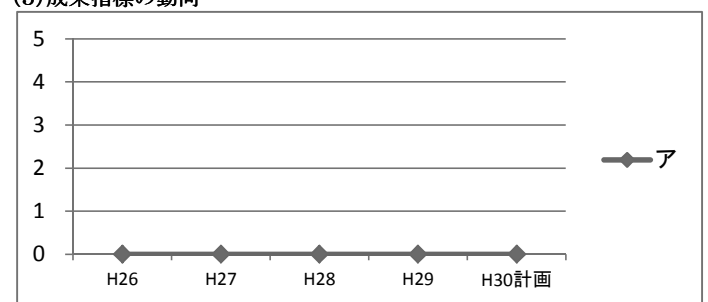
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動)		ア 観光案内看板既設数	件	10	12	12	12	12
	該当事業なし		イ 施設改修工事件数	件	2	1	0	0	0
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
対象意図	観光客		ア 観光施設に対する苦情件数	件	0	0	0	0	0
	安全で快適な環境で市内観光ができる。		イ						
対象意図									

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
普通				⑦
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
②				
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧		(7)		
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	成果指標ア 成果指標イ	時期 内容
	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 横ばい ☐ 低下	通年 来訪者が快適に過ごせるよう施設管理に務める。
【コメント】 (低下の場合、その理由)	比較 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画	成果動向 ア イ	今後の方向性 通年 来訪者が快適に過ごせるよう施設管理に務める。